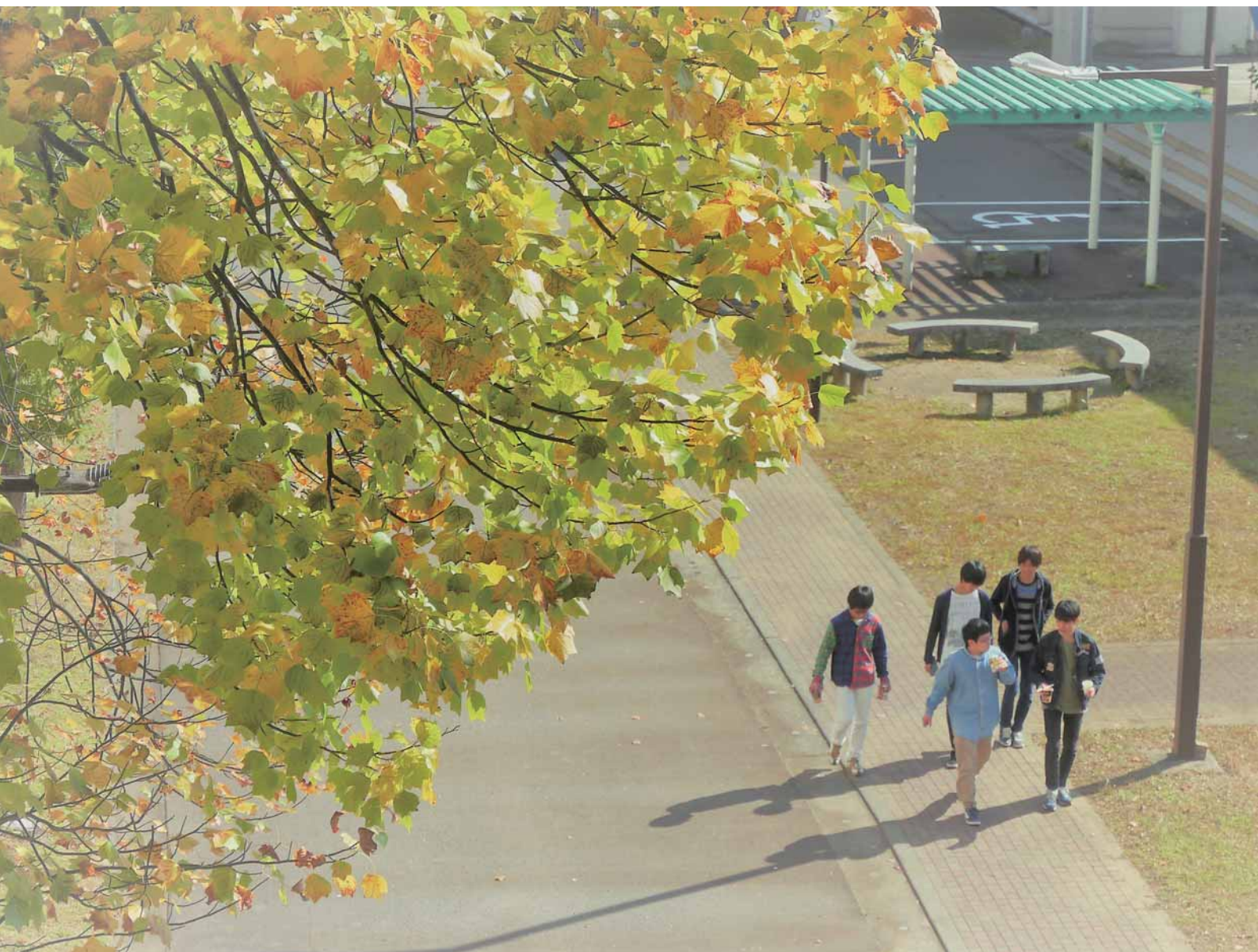




高志台

学園だより

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに”（越の国・古志の国・高志の国）と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台（こうしだい）」と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台（卒業生）	05-09
さよなら高志台（専攻科修了生）	10-11
さよなら高志台（留学生）	12-13
さよなら高志台（退職する教職員）	14
卒業生・修了生表彰・進路状況	15
PICK UP 2017 TOPICS	16



独立行政法人国立高等専門学校機構

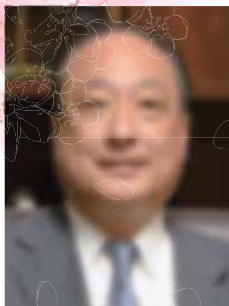
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉

卒業・修了を祝して

校長 竹茂 求



長岡工業高等専門学校を卒業、修了される皆さん、おめでとう。教職員を代表して卒業生、修了生の皆さんに心からお祝いの言葉を申し上げます。また、これまで長きにわたってご支援を賜りました

保護者ならびにご関係の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

今年度、学科を卒業するのは、機械工学科34名、電気電子システム工学科27名、電子制御工学科38名、物質工学科36名、環境都市工学科39名の合計174名です。また、専攻科を修了するのは、電子機械システム工学専攻18名、物質工学専攻6名、環境都市工学専攻10名の合計34名です。卒業生にはマレーシア、ベトナム、ラオスからの留学生6名、修了生にはベトナムからの留学生1名が含まれています。

卒業生、修了生の皆さんは、中学を卒業した早い段階で将来技術者になることを決心し、夢と希望に溢れて長岡高専に入学されました。しかし、難しい専門教科への不安などで、卒業するまでの道のりは暗くて長いトンネルに思えたかも知れません。また、技術者になることのイメージが明確でなく、長いトンネルの出口は、おぼろげにしか見えなかったかも知れません。しかし、この高志台で学び、今、卒業、修了される皆さんの目の前には、トンネルの出口に明るい景色が広がっていることでしょう。この新たな景色の世界に旅立たれることを、あらためて、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは卒業して社会にでると、例外なく、同年代の他の仲間と比べて圧倒的な専門知識や実践的技術が身に付いていることを直ぐに実感されるはずで。社会で大活躍している卒業生がそれを証明しています。皆さんの先輩である高専卒業生は、世界の奇跡と言われている戦後の日本の高度経済成長を支え、その後今日までの経済発展に大きく貢献していると高く評価されています。そして今、日本の高専という教育制度は、海外でもKOSENという名前で大きく注目されています。

さて、今日、社会や産業の構造は、人工知能やIoTの導入、そして専門領域の複合融合化により、人類がこれまでの歴史で経験したことがない大変革を迎えています。それに伴い、技術者に求められる人材像も大きく変化しています。例えば、東京工業大学の齊藤滋樹先生の言葉を紹介しましょう。「最先端の専門知識を備えた人材が貴重であり続けるのに異論はないが、それでは足りない時代である。今後は、手が良く動き、新しい価値を創造するエンジニア

は引っ張りだこになるが、決められた手順や手法を繰り返すエンジニアや、オーダーされたことを黙々とこなすだけのエンジニアは、労働市場における価値を著しく落とす時代である。」

手が良く動く、というのは高専の卒業生が高く評価されていることです。それでは新しい価値を創造するのに必要なことは何でしょうか。従来は専門性を深めることが技術革新に繋がりました。しかし、技術や知識の変化が加速して専門領域が複合融合化した現代は、専門知識を広い分野に応用する能力が求められます。その典型例としてよく引き合いに出されるのが、例えばiPadやiPhoneです。これらの製品は様々な技術の複合体であり、個々の技術はそれほど革新的なものではないにしても、これらが社会で必要とされ、広く受け入れられていることはご存じの通りです。今後の産業界では、世の中の新しいニーズを発見し、他の専門分野の技術者と連携してそれを実現する人材が求められます。東京大学の中島秀之先生は、その人材として「原子型人材」という興味深いモデルを紹介しています。原子を構成する原子核が「専門知識」で、その周りの電子が「幅広い興味や教養とコミュニケーション能力」というのです。このモデルの優れた点は、個人である原子が電子によって互いに結合して大きな分子を作ること、そして、分子を作るには、原子核と電子、つまり専門知識と幅広い知識の両方が必要なことを良く説明することです。

長岡高専はこのような人材を育成するために、時代の変化に対応した専門教育と共に、全国の高専に先駆けて、エンジニアリング・デザインをキーワードに、専門学科を横断した先進的教育を実践しています。皆さんには、社会にでてからも、自らの原子核と電子を共に成長させるために学び続けられることを期待します。

これからの世界は誰も想像できない未知の世界ですが、それだけ大きな可能性があります。卒業、修了される皆さんがその最先端で活躍されることを、校長をはじめ教職員は信じて疑いません。

最後に、もう一つ大事なことをお話します。高専への入学者は中学卒業生のわずか1%です。しかし、大学の工学部を含めて、技術者を育成する高等教育機関に限定すれば10人に一人が高専の卒業生です。皆さんはこれから、多くの高専卒業生が世界中で大活躍していることを知り、心強く、誇りに思われるでしょう。またその繋がりが大きな財産であることを実感されるはずです。

私たち教職員は、皆さんの人生の最も大切な成長の時を共に過し、喜びや苦労を分かち合えたことに心から感謝しています。皆さんの活躍は、長岡高専の全関係者の喜びであり誇りです。皆さんのご活躍を心から願っています。



新たなステージへ

後援会長 五味 由紀子

ご卒業・ご修了おめでとうございます！そして保護者の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

入学当時は中学生みたいだった皆さんたちが、成人になり、より遅くなった姿で新たなステージに進まれることを大変嬉しく、眩しく感じております。

後援会は学校と家庭を繋げ、教育の充実向上支援を目的に学校と一緒に活動しています。その活動を通して、私は、校長をはじめ教職員方の教育や皆さんに対する崇高な思い、熱意、優しさ、真摯な取り組み、そして確実に成しとげる結果を目の当たりにしてきました。そんな素晴らしい天地人に接しながら学べたこと、成長する機会を得たことは、かけがえのない経験と財産です。けして忘れないでくださいね。

ここ最近、AI技術として自動運転技術が進み、運転サポート・アシスト機能が進化しています。シンギュラリティと目される2045年には電気飛行機が現実のものになるとも予測されています。2045年は、皆さんはバリバリの現役で、それぞれの分野で力を発揮し活躍していることと存じます。

一方で、これからの将来は非常に厳しい環境になると捉

えている人もいます。ここ10年で人間が行う仕事の約半分が機械に奪われる…も影響しているかもしれません。

しかしながら、皆さんが長岡高専の卒業生としての自覚と自信を持ち、夢や目的を持って、その夢や目的までいかにして到達するのかを強く心に思い描けば、必ず道は開けます。恐れず、ひるまず、前向きにチャレンジしていきましょう。そして、自分の人間性を高め、磨きをかけ、素晴らしい人生を歩んでいただきたいと思います。

結びにあたり、少し先を歩いている、人生と長岡高専の先輩である私から、5つのメッセージを贈らせていただきます。

- ①(まずは当たり前ですが) 返事と挨拶をしましょう。(いつも誰に対しても元気づけることが大切です。)
- ②自分の人生の脚本家、監督、主演を自分でしっかりつとめましょう。(自分の一番のファンは自分。ときには自分を律し、自分らしく生きましょう。)
- ③朝は希望に起き、夜は感謝に眠りましょう。(ポジティブに一日を始め、感謝で振り返りましょう。)
- ④過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられます。(いつでも自分の意識次第で自分は変えられます。新しい未来を創るのは自分です。)
- ⑤人生において醍醐味を味わいましょう。(つまらない人生ではなく、本当の面白さ、深い味わい、神髄を楽しみましょう。)

新しいステージでの皆さんのご活躍を、親御さんとともに楽しみにしております。



新たな旅立ちへ

同窓会長 伊藤 恒彦

今春それぞれの新たなステージへ旅立つ卒業生の皆さん、この日お待ち望まれたご家族の皆様から心からお祝いを申し上げます。

東日本大震災から7年を迎えましたが、被災地の復興はまだまだ道半ばの状況であり、福島原発事故の後始末もなかなか進まない状況です。このような状況の中、皆さんを取り巻く環境は、原発事故以来大きなテーマとなっている日本のエネルギー問題、昨年の九州北部豪雨などの頻繁に起こる自然災害、少子高齢化問題そして老朽化インフラの再整備等々多くの課題が山積しています。そんな中、経済対策を最優先に展開した結果、株価はバブル当時並みまで上昇していますが、今後も経済成長を進めて行くためには、アメリカをはじめとする世界の国々の動向を注視していくことが必要ではないかと思えます。

さて、昨年は学生の皆さんが「全国高等専門学校ロボットコンテスト全国大会」や「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」において優秀な成績を上げ、活躍されたニュースを耳にし、長岡高専の卒業生として大変誇りに思

いました。また、iPS細胞の発見から、病気の原因の解明、新薬の開発、再生医療などの分野での研究が進み、医療技術の進歩により多くの尊い生命が救われる時代が到来する事でしょう。このように日本の科学・技術力は世界に誇れるものであり、これからも世界に誇れる多くの科学者、技術者が生まれるものと期待しています。

一方で、グローバル化する社会においては多くの変化が起きており、その変化により早く対応できる能力が求められているのではないのでしょうか。

皆さんはこれから専攻科、大学へ進学する方、就職され社会に出られる方と、それぞれの道に進むこととなりますが、自分で選択した新しい道に自信を持ち、迷いなく、悔いを残さぬよう歩んでいただきたいと思います。

新しい道には、いくつものハードルがありますが、高志台で学び、過ごした皆さんには、ハードルを越えるために必要な知識やコミュニケーション能力は十分備わっているものと考えています。

最後に、高志台から巣立つ皆さんが、自分の力を信じ新たなステージで高専卒業生として活躍されますことを期待すると共に確信しています。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、『健全なる精神は健全なる身体に宿る』の言葉を贈り、お祝いの言葉とさせていただきます。

さよなら高志台 思い出のアルバム

2013-2018

2013.4.5 入学式



学科1年生が208名、3・4年の編入生が8名、専攻科生が38名、総勢254名が新たに本校の一員に加わりました。

2015.10.1 3学年工場見学



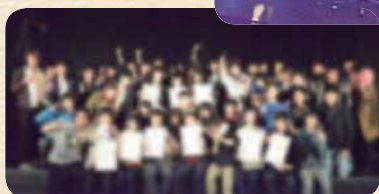
2015.12.10 クラスマッチ



2016.5.19 遠足



2017.11.3~5
高志祭



2013

6月 富士山が世界文化遺産に決定

9月 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定

12月 特定秘密保護法成立

2014

2月 関東・甲信地方を中心として記録的大雪

4月 消費税が5%から8%に増税

7月 集团的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更を閣議決定

2015

3月 北陸新幹線開業

6月 改正公職選挙法成立

8月 戦後70年

9月 安全保障関連法成立

10月 マイナンバー制度施行
TPP大筋合意

11月 パリ同時多発テロ

12月 日本の研究グループが
113番元素の命名権を獲得

2016

1月 大相撲初場所ですり手
が日本人力士として10年ぶりの優勝

3月 北海道新幹線開業

5月 伊勢志摩サミット

8月 リオデジャネイロオリンピック開催。過去最高の41個のメダルを獲得

10月 大隅氏にノーベル医学生理学賞

2017

1月 アメリカ大統領にトランプ氏が就任

2月 プレミアムフライデー初実施

4月 世界フィギュア 羽生が世界最高得点で優勝、フィギュア女子浅田真央引退

6月 天皇退位特例法が成立
上野動物園でパンダ誕生
14歳棋士 藤井4段 29連勝の新記録

10月 衆議院選で自民圧勝、立憲民主党が野党第1党に

11月 TPP、米国抜きで大筋合意

2013.4.5 入寮式歓迎夕食会



2014.12.17 学生総会



2015.1.14~16

2学年スキー合宿研修



2015.1.26

台湾・国立台中文華中学校との交流



2016.9.27~30 4学年見学旅行



2017.10.11 体育祭



5年間ありがとう 大谷 俊介

卒業まで5年もあると考えていた入学当初が懐かしく感じます。日々の学校生活を始めた各学年での学校・学年行事や部活動、どれにおいても積極的に参加し、楽しむことができました。中学の野球部の時でさえ、拒んでいた坊主に自らなるほど熱中した陸上競技110mハードル。学園祭を学生として初めて経験し、4年次では運営側となった学園祭副実行委員長。横浜ロイヤルパークホテルの57階に宿泊したブルジョワ旅行の研修旅行。長すぎると思っていた5年間は瞬間に過ぎていったように思えます。特に印象に残っていることは、体育祭で応援団長を務めたことです。先輩方が繋いできた優勝の流れを、8連覇目として繋ぐことができてホッとしました。連覇がかかっていることは考えず全種目制覇を目標にすることで、全員で楽しむことのできる体育祭になると思います。

他の事でも学生の積極性・自主性が尊重され、それに協力してくれる友人や熱心に答えてくださる先生方に恵まれた学校だったと思います。私は来年からは専攻科に進学するので、体育祭の棒倒しにでも誘ってください！



濃厚すぎた5年間 矢部 祐介

僕が長岡高専に入学してから5年が経ちました。長かったような気がします。短いな気もします。5年間を思い返して、毎日のように提示されるレポート、理解するのが難しい授業などの嫌な記憶がたくさんあります。ですが文化祭、体育祭、研修旅行、もちろん日々の日常で楽しいことはもっとたくさんありました。そんな日々には友達という存在があります。文化祭では友達と一緒に学科対抗演劇を作り、体育祭は友達の活躍を写真に残したり、研修旅行では友達と一緒に横浜中華街を歩いたり企業を見学したりしました。日常でも友達と笑顔の絶えない楽しい日々でした。

よくよく考えて思い出すと、部活や演劇で先輩後輩とふざけあったり、研修旅行でアニメ映画見て夜更かししたり、クラスの写真を撮りまくったり、女装して弾き語りして歌詞を忘れたり、「クラスで一番平凡な学生」と自称していた僕ですが、なかなかカオスな5年間でした。450文字程度で書ききれません（笑）

小学生や中学生のときに思い描いていた青春とは違う変わった5年間でしたが、これはこれで良かったし楽しかったと思います。

最後に長岡高専と共に過ごした友達や先生に一言。ありがとう！



いよいよ旅立ちの日ですね！ 3～5学年クラス担任 井山 徹郎

長かったようで、おそらくあつという間だった高専生活もいよいよ幕を閉じようとしています。私にとってはやっぱりあつという間だった担任生活が終わろうとしています。3年前に担任として皆さんと初めて顔を合わせたとき、お互いにどんな奴なのか？どんなクラスなのか？と警戒し合い、皆さんは少しだけ緊張した面持ちだった様子を今でも覚えています。皆さんと付き合っていたなかで、私自身が高専の卒業生ということもあり、もしこのクラスに自分が学生としていたら？と、つい考えてしまうことがありました。そうだとしたら、間違いなく私は充実した高専生活を過ごし、きっと今の皆さんと同じように素晴らしいクラスの一員として、素敵な笑顔をしながら卒業できたことでしょう。素敵な級友達に恵まれた皆さんがとても羨ましいです。高専生活で得ることができた最大の成果は、一生付き合える友人、そして先生です。クラスの級友たちへ感謝の気持ちを忘れず、そしてお世話になった先生たちにも少～しくらいは感謝して、可能性に満ちあふれている、これからの皆さんの道を歩んでください。

皆さんのこれからのご活躍を心より祈念いたします。ご卒業おめでとうございます！



卒業おめでとう 1～2学年クラス担任 土田 泰子

前任の田中真由美先生から引き継ぐ形で、1年生の後期から皆さんのクラス担任となりました。最初の保護者面談を田中先生と一緒にやったのが懐かしいです。勉強に、部活に、趣味に、いろいろなところで多才に活躍する、エネルギーのある皆さんの様子を圧倒されながら、楽しく時間を過ごしました。私事です。男の子が生まれてすぐの担任だったので、男子ばかりの機械科を前に、赤ちゃんからここまで育ててこられた親御さんのことを思うと、時に胸が熱くなり、些細なことにいちいち感動してしまう毎日でした。

皆さんはこれから新しい環境の中で、新しい挑戦をしていくことになります。不安になることもあると思います。不安は、相手をよく知ること、これから何が起こるか予測すること、それに対する準備をすることで軽減することができます。何もしないと、不安はどんどん大きくなってしまいます。置かれた状況の中で、自分に与えられたミッションが何なのかを考えてみましょう。きっと、次の一步がみえてきますよ。困ったときには母校にヒントをもらいに来てくださいね。卒業おめでとうございます。





高専での思い出
新井 太一

私の5年間の一番の思い出は、3、4年次における留学生チューターです。主に実験実習でのサポート役として私は、説明を正確に伝えるため難しい日本語の使用はできるだけ避け、「英単語」や「ジェスチャー」を用いて優しく丁寧に教えるように心がけました。説明するに伴って、自らが事前に実験内容を熟知しておく必要があったため、事前の予習を怠ることなく取り組み、何を聞かれても分かりやすく教えることができました。また、聞かれたときにだけ答えるのではなく、日常生活においても様子を覗くようにし、戸惑っていると感じたときには積極的に声をかけるようにしました。次第に「ありがとう」が、「チューター」というものを引き受けてよかったと思う満足感と、人やものを大切に「やさしさ」を得ることができました。卒業後は、この5年間で得た知識をさらに伸ばし、留学生チューターで得た「やさしさ」とともに、人のため、世のために活躍できるエンジニアになりたいです。最後になりますが、5年間お世話になった先生方や仲良くしてくれた後輩や仲間達、そして、支えてくださった家族を含めたすべての方々に感謝しています。ありがとうございました。



卒業するにあたって
坂田 一雄

長岡高専に編入学して2年が経とうとしています。卒業を迎えられるのは大きな喜びです。私は高等学校を卒業後、社会に出て長い年月を過しましたが、いつかは高等教育機関で学び、より専門的な仕事に就きたいと思っていました。そんな時に長岡高専のことを知り、学ぶなら絶対ここしかないと思いました。その思いで勉強し、何とか合格できました。

入学後の不安はたくさんありました。勉強のことや、編入生でしかも年齢がかなり違うのでクラスに馴染めるかなど。でも、みんな素直でフレンドリーな人で、仲間に入れてもらえました。友達になったときは本当に嬉しかったです。勉強や学内のことなど親切に教えてくれて、お陰で学校生活に馴染めて、何とか進級もできました。

この2年間、勉強はしんどかったけど本当に楽しかったです。先生方、研究室の先輩方、クラスみんな、お世話になりました。ありがとうございました。また、自分の夢に、といった大袈裟ですが理解し協力してくれた家族に感謝します。卒業後は社会に復帰して活躍したいと思います。



卒業おめでとう!!
3～5学年クラス担任 床井 良徳

卒業おめでとう。何より皆さんに感謝しています。初めての担任という事もあり、色々と至らない点もあったと思いますが、皆さんの成長と共に担任として大きく成長できた3年間でした。恐らく、担任としてやっていない事は無いと思えるくらい、毎日の変化に富んで新鮮な日々、あっという間の3年間でした。個性豊かな皆さんとともに過ごせた3年間は宝であり、非常に楽しかったです。ありがとうございました。卒業という節目になりますが、人生にとっての一通過点にすぎません「終わりの始まり」です。これからは、自分で判断して進まなければならないかもしれません。岐路に立った時、自分がどう判断するか？ 迷う事も多々あると思います。より良い判断をするためにも、多くの経験を積みセンスを磨いてください。自ら試すのも良いと思います。そして人生を楽しむコツは工夫だと思います。何だか楽しくない…という時、色々な視点から、その物事を見て、楽しいと思える見方を工夫して探してみてください。きっとあるはずです。人生楽しく!! みなさんの事を応援しています!!



卒業前に最後の検定試験
～恒例の長岡高専卒業検定～
1～2学年クラス担任 江田 茂行

卒業を前に、最後の試験です。「○×問題」を出題。全問○の人に「卒業おめでとう!」の言葉を贈ります。①：長岡高専学校長名を漢字で書ける。②：校歌1番を歌詞なしで歌える。③：クラス担任の名前を漢字で書ける。④：専門学科の先生の名前をすべて漢字で書ける。⑤：卒業研究課題について小学生にも簡単に説明できる。⑥：長岡高専で学んだことを瞬時に思い出せる。⑦：何でも相談できる親友が5人以上できた。⑧：お世話になった教職員へ卒業挨拶は済ませた。⑨：高専でやるべきことを後輩に伝えることができる。⑩：保護者やお世話になった方々（中学校の担任・先生など）へ報告と感謝の気持ちを伝えた。

どうでしたか。かなり難しかったと思います。10問中、全問正解の人は、胸を張って卒業可能なので、「卒業おめでとう」の言葉を贈ります。10問すべて正解できなかった人は、全て○になるように、卒業するまで（卒業式：3月19日）、努力してください。





意外っていうか、前から空しいと思ってた 笹川 匠也

前にテレビを見ていて“顧客は自分が何が欲しいのかわかっていない”という言葉を知りました。経営などの場面で使うものらしいですが、この顧客は自分だと思ったという話です。自分は小学校に入る前からビデオゲームが大好きです。大好きなことはできれば死ぬまでやり続けて、死ぬのが本望のはずです。

しかし近頃、ゲームをしていても空しいのです。空しく感じるようになった原因は、自分が社会のおかげでここまで生きたと気付いたからだと思っています。社会がなかったら自分は食べ物を探すので精一杯でゲームどころではなかったでしょう。ゲームやゲームをする人が社会に不要といっているわけでありません。それらが社会の役に立つならば重要なものです。自分はゲームをしているだけでは社会の役に立たないということです。社会の役に立たなくてもいいという考えでは、お世話になった社会に見放されて生きるだけで精一杯になります。

その場その場で自分勝手に行動するのは楽しいことと思ってこの数年やってみましたが空しくなってきました。今後は自分が本当にやりたいことは何なのかよく考え、生きがいを見出したいです。



5年間を振り返って 本間 響

長岡高専に入学してから5年間、気がつけばあっという間に経っていました。振り返ってみるととても充実した学生生活を送ることが出来たと感じます。なぜか準優勝したクラスマッチでのフットサル、ヤケにユルい体育祭、延々とドーナツを捏ねた学園祭など、仲間たちと目標に向かって取り組んだかけがえのない思い出です。この青春時代を個性的な仲間たちと長岡高専で過ごすことが出来たことをとても嬉しく思います。また、多くの困難に直面することもありました。テスト勉強やレポートでは数え切れない程の徹夜を重ね、後回しにすると苦労することを学びました。楽しいことばかりでなく、この困難を乗り越えることでより充実感や満足感を味わうことが出来、自身の成長に繋がったと思います。

私は春から新社会人としてスタートを切ります。新しい環境、新しい人間関係、不安もありますがこの高専で学んだ経験や思い出を糧とし、これからの生活も楽しんでいきたいです。

最後に、5年間にわたり指導して下さいました先生方、共に過ごした学生の皆さん、ありがとうございました。



変える力を

3～5学年クラス担任 上村 健二

卒業おめでとうございます。私が長岡高専に赴任したのは5年前ですから、ちょうど皆さんと同じだけの時間を過ごして来たことになります。皆さんにとっての5年間はいかがでしたか？ 私にとっては、特に担任となった後半3年間が大変だった反面、皆さんの成長を実感できる非常に充実した期間でした。皆さんは成長をあまり実感できていないかもしれませんが、初めての担任で十分なサポートを提供できなかったなか、なすべきことをなして卒業していく皆さんは、未来を自らの力で切り開く能力を身につけていると確信しています。

現在の皆さんは5年前に思い描いた人間になれていますか？ 完全に理想通りになれた人はおそらくいないのではないかと思います。ですが、5年前より「どのようにしたらそうなれるか」は少し具体的になったのではないのでしょうか。それが進歩であり、あきらめずに進歩を重ねることが現状を理想に向けて「変える力」になります。

新天地での皆さんが「何かを変える」ご活躍をされることを心よりお祈りしております。



時間 距離 道のり

1～2学年クラス担任 阿部 高弘

このたびは卒業おめでとうございます。高専は5年間の時を経ての卒業となります。

皆さんにとって卒業までは長い道のりだったのではと思います。

さて、道のりといえば私は高校勤務からこちらに来て8年が過ぎようとしています。新発田、長岡間は1日往復約180kmの距離です。今は2台目の車で通勤しています。走行距離の合計は約38万km。地球から月までの距離だそうです。

みなさんの通学距離、時間は5年間でどれくらいでしょう。また、卒業後は新しい通学、通勤。今後どれくらいの時間距離となるのでしょうか。

私は学生の時（東京でした。）1日電車を8本乗り継いで通学していました。

長い道のりは人生も同様。乗り切るには根気と気力が大切です。その元になるのは体力です。体を動かすことを忘れずに。気力体力充実した人生、そして幸せな道のりとなることを祈っています。





長岡高専で達成したこと 岩村 悠真

私が長岡高専での生活の中で、特に力を入れたことは部活動です。入学してすぐに卓球部に所属し、全国高専大会出場を目標に頑張りました。1年生から3年生までの間は、惜しくも目標を達成することができず、私は挫折を経験しました。この時の悔しさをバネに、これまでよりも一層練習に励みました。そして、諦めずに努力した結果、4年生の時に、後輩とともに全国大会への出場を勝ち取りました。勝った瞬間は言葉では言い表せないほど、嬉しかったことを覚えています。

目標を達成し、学校生活が一段落ついた後は、進路を考える時期となりました。早い時期から大学で化学を専門に勉強したいと思っていたので、夏休み明けから少しずつ受験勉強を始めました。この時、精神面で友人や先輩に、勉強面で先生方にたくさんお世話になりました。そして、当初は無理だと言われていた第一志望の大学に無事合格することができ、今は安堵の気持ちでいっぱいです。

この5年間の思い返すと、他にも多くの壁がありました。そのたびに、諦めずに直向きな努力をすることで、正面から乗り越えてきました。新天地に行っても、この経験を生かしていきたいと思います。最後に、この5年間でお世話になった担任の村上先生、野澤先生をはじめ、ご指導いただいた先生方、友人、先輩・後輩のみなさん、ありがとうございました！



5年間ありがとう 片桐 雛子

入学してから5年が経とうとしています。入学した頃、5年間はとても長いと思っていました。しかし、今では5年間はあっという間だったなと感じています。

この高専生活で一番の思い出は「部活」です。野球部に入学し、マネージャーとしてすごしてきました。どんな気温や天気でも、部活漬けの毎日で大変でしたが、素晴らしい監督やコーチ、先輩、後輩、そして同学年の部員たちと過ごすことができて楽しかったです。最後の高専大会で全国に出場でき、3位に入賞したことは一生の思い出です。

部活を通じて、忍耐力や洞察力、行動力を身に付けることができました。私は、長岡高専卒業後、就職します。慣れないことがたくさんあると思いますが、長岡高専での生活で学んだこと、身につけたことを活かし、社会人として頑張っていきたいと思います。

最後に、村上先生、野澤先生、お世話になった先生方、支えてくれた家族、友達、監督・コーチ、先輩・後輩、本当にありがとうございました。



新たな門出を祝福して 3～5学年クラス担任 村上 能規

ご卒業おめでとうございます。3年間、同じクラスと担任として過ごすことがどういう気分なのかなとドキドキしながらの担任の船出でしたが、こうやって、皆さんを無事、送り出すことができ、ほっとしています。3年になって最初のホームルームでこっそり悠久山の花見に行って写真撮影したり、春の学生会行事の東山の遠足で箸と皿がないといわれ、急ぎょ、慌てて車で買い出しに行ったのも遠い昔です。とにもかくにも、担任当初はクラスの雰囲気をはんとかしようと思死でした。私自身、名前を覚えるのが苦手で、「私、誰かわかります？」と冷やかしの質問に耐えながら、気が付くと、名前どころか、皆さんの性格と特徴をしっかりと理解できるまでになりました（多分）。子供っぽい雰囲気が残る3年生の時に比べると、卒業を迎えた今の皆さんは立派な大人です。これからいろいろな事に会い、経験を深めることになると思います。もちろん、いいことばかりではないと思いますが、そういう時でも、このクラスで築き上げた絆を思い出して、乗り越えていってくればと思います。おめでとう！



卒業おめでとう 1～2学年クラス担任 野澤 武司

卒業おめでとう。皆さんが入学してもう5年の月日が経ったのですね。入学した頃の頃は、まだ中学生という感じで、子供っぽさも残っていたように記憶しています。しかし、今は立派な青年となり、子供っぽさは微塵も感じません。5年間の経験が皆さんを成長させたのだと思います。入学した頃の頃は初めて接するクラスメートとどうやって人間関係をつくったらよいかや高専での勉強にどのように取り組んだらよいかなど悩んだと思います。また、新しい環境に慣れた後、遠足での昼食作りや体育祭、学園祭などを協力して行って仲間の良さを感じたり、上級生になって、下級生を指導する責任感を学ぶなど、5年間いろいろな経験を積んできたと思います。うれしい経験、苦しい経験、いろいろな経験があったと思いますが、それらの経験こそが、皆さんを成長させたものだと思います。卒業後、各分野に進んで、またいろいろな経験をしたいと思います。自分を育ててくれたと思うのでどうぞしっかりと向き合って進んでいってください。今度会ったときに更に成長した姿を見るのを楽しみにしています。

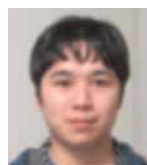




Team Ci
下村 魁晟

容姿も考え方も気持ちも変わった5年間。そんな5年間に数えきれない思い出がありました。僕たちのクラスは行事には常に全力。遠足、体育祭、文化祭、クラスマッチと全力だったからこそ嬉しい気持ちも悔しい気持ちも他のクラス以上に経験できたと思います。そんな行事には欠かせないトレードマークのクラスTシャツ、一生の宝物です。学校行事最後のクラスマッチではクラスTシャツを全員で着て大縄とび、三度目の「優勝」。有終の美で終わることができました。ちなみに最後に縄に引っかかったのは僕です。本当に団結力のある大好きなクラスです。長岡高専の「自由な校風」、自由だからこそ自らで考え、自律して行動することの大切さも学びました。自律的に行動することは、勇気や責任が伴います。世の中楽しいことだけじゃなくともあります。これからそれぞれ大きな壁にぶち当たる時もあると思います。そんな時はみんなとの楽しい思い出を思い出しながら「きつと、うまくいく」精神で全力で挑戦していきます。当たって砕けた時に支えになってくれる、支えになりたいと思える仲間と出会えた5年間を送れたことを幸せに思います。

最後に、この長岡高専で学生生活を送れたことは家族、先生方、先輩、後輩そして5年間ともに過ごした仲間のおかげです。みなさん本当にありがとうございました。

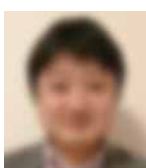


ありがとう高志台
樋口 裕武

入学式の日、この学校に5年間も通うのか……と考えたのを今でも覚えています。でも、振り返ってみればとても短く、とても濃い学校生活だったように感じます。入学したての頃は勉強や課題に追われ、慣れない寮の環境で苦労しました。その中で、同級生、寮の友達、部活の先輩、先生方との多くの出会いがあったおかげで、楽しく無事に高専生活を終えることができました。

特に記憶に残っているのは5年生時のことで、環境都市工学科を引っ張っていこうとクラス全体がまとまって体育祭や文化祭を行っていく雰囲気が出て、最学年として下級生達が憧れる姿を見ることができたのではないかと思います。他にも、徹夜して課題をやりながら思うスケジュール管理の重要さや、お互いに分からないところを聞き合ったり分からない人に教えてあげたりと協力することの大事さ等々、長岡高専で学ぶことは多くどれも大切なものばかりです。この経験をこれからの人生へ進む原動力へと変えていきたいと思っています。

最後に、5年間お世話になった先生方、先輩、同級生、後輩の皆様に最大限の感謝を。本当にありがとうございました。



光陰矢の如し
3～5学年クラス担任 衛藤 俊彦

私は皆さんのクラス担任を3年間受け持ちました。その間、皆さんの成長していく姿を見ることができ、とてもうれしく思います。私が長岡高専で担任を受け持つのはこれで2回目ですが、年を取ったせいか今回の担任はあっという間に終わったという感じがします。皆さんの高専生活はどうだったのでしょうか。あっという間でしたか？ それともとても長く感じましたか？「光陰矢の如し」ということわざがあるように、月日というのはすぐに過ぎ去ってしまいます。皆さんも年齢を重ねるにつれ、このことをより強く感じると思います。皆さんが持っている時間は有限です。使い方は自由ですから、学ぶこと、遊ぶこと、寝ることなど、なんにでも使えます。ただし過ぎ去った時間は戻すことができません。皆さんが使うこれからの時間は、新しい環境で自分をより成長させるとても大切なものです。無駄に使ってしまい後悔することが無いように、一日一日を大切にしてください。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからのご活躍を期待しております。



卒業おめでとう
1～2学年クラス担任 涌田 和芳

教室に41個の机と椅子が並び、一人ひとり座って、数学の勉強をしていました。そんな様子を懐かしく思い出しているところです。私にとっては最後の担任でしたので、一層、力を尽くすつもりでしたが、むしろクラスの皆さんに恵まれてやってこれたように思います。

高専はスプリングボードで、私は担任という一本のばねでした。私に十分な弾力があったかどうか。しかし、皆さんには、十分な力がついているはずです。ここで、元気にジャンプしてください。

まもなく、高志台にも春の風が吹いて来ます。半世紀ほど前のことを思うと、きっと皆さんには、未来からの風が吹いているのではないかと思います。しかし、時が経つにつれ、過去からの風が吹くこともあります。そんなとき、高志台のことを思い出してもらえれば幸いです。

最後に、杉山平一の10行の「前へ」という詩を贈ります。既に故人ですが、この方からは、いろいろと教わるころがありました。

前へ

反省し振り返っても／立止るな／ラグビーさながら／球を／後へ／後へ／送りながら／前へ／前へ／突進せよ





電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）
橋立 大

もうすぐ僕が長岡高専に入学してから7年の月日が経とうとしています。学校生活は様々な人との出会い、経験がありました。中でも5年生からの3年間は研究活動もあって特に充実していたと思います。研究活動では様々なことを学びました。しっかりと計画を立てること、研究室の先輩・後輩とのコミュニケーション、研究発表など本科の生活だけでは体験できないようなことをしてきたと思います。専攻科に入り、自分の学科以外にもかわりが増えました。高専での出会いは一生ものだと思うので、大切にしていきたいです。

この2年間、お世話になった大石先生、研究室の先輩後輩にこの場を借りて感謝申し上げます。この2年間でこれほど充実したのは周りの人たちのおかげだと思っています。来年から社会人になりますが、高専の卒業生として恥ずかしくない社会人になろうと思います。今までありがとうございました。



PVSEC-27のポスター発表にて



高専生活を振り返って

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）
南雲 祥多



今、「さよなら高志台」を書いているのが信じられないくらい、あっという間だった高専での7年間が終わろうとしています。

7年間の高専生活を振り返って

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）
西田 元記



長岡高専に入学してから、7年の月日が経とうとしています。正直なところ、小学校よりも長く学校にいた実感はありません。それくらい充実し、あっという間の7年間でした。

特に専攻科に進学し、日々の研究活動がメインとなったことで非常に忙しくなり、毎日が充実していました。研究活動は本科に続けていた研究に加え、新しく別な事にも挑戦させていただく機会を頂き、他の研究室の方と協力して



2017年（平成29年）FIT2017に参加した時の様子です。
（東京大学本郷キャンパスにて、指導教員の上村先生と）

この7年間の間に、クラスや部活で旅行や合宿に行ったこと、徹夜でレポートを書いたこと、…など楽しい思い出も苦労した思い出も数え切れないほどありましたが、その中でも印象に残っているのは5年生からの研究活動です。研究が行き詰ってしまうことが何度もありましたが、その都度指導教員の上村先生から指導を頂き、研究を完遂することが出来、自分自身も大きく成長できたと思っています。

私は専攻科修了後就職する道を選びましたが、長岡高専で学んだことを無駄にすることなく、お世話になった方々に少しでも恩返しをしていきたいと思っています。教員の皆さまをはじめ、学生生活を支えてくださったすべての皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。



物質工学専攻（物質工学科出身）
高野 諒真

私が長岡高専に入学してからもう7年が経とうとしています。数字で見るととても長く感じますが、私にとってはあっという間の7年でした。入学当初は課題やレポートに追われ、忙しい日々が続きました。しかし、切磋琢磨できる友人や優しい先生方のお陰でなんとか乗り切ることができました。テスト期間の放課後に、皆で残って勉強を教え合ったのはいい思い出です。専攻科での2年を振り返ってみると、楽しいことや辛いことなど多くのことを経験することができました。研究に関してはあまり真面目な方ではなかったのですが、特に言うことはありませんが、勉強に関しては人生初の受験やTOEICなど多くのことにチャレンジできた2年であったと思います。また、



専攻科の授業は自主性が問われる物が多く、見たことのない課題に戸惑うこともありましたが同級生と協力し、乗り越えることができました。

私は大学院に進学するのであと2年間は勉強を続けることになります。環境が変わり、辛いことも経験すると思いますが、長岡高専で学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。

最後に、坂井先生をはじめ、お世話になった諸先生方、苦楽を共にした同級生、研究室の先輩・後輩の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。



専攻科を振り返って

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

小林 直央

平成23年4月、高専に入学してから早いもので7年も経ちました。特に目的もなく生活していた本科5年間とは違い、専攻科での2年間は短いようでとても有意義な時間であったと感じています。中でも、専攻科のメインである研究活動は僕を大きく成長させてくれたと思います。研究成果を認めてもらえたことで、高専学会研究奨励賞において優秀賞、高専修了式での特別表彰を戴けるなど高専で頑張ってきたことが形になったことに喜びを感じています。

おもい起こせば、面白いことがいろいろあった専攻科2年間でした。本科から7年間一緒に気心の知れた仲間たちと過ごしてきた専攻科生活は、一生の宝物になったと思います。成績もあまり良くなかった僕ですが、ここまで成長できたことは、教職員はもちろん、専攻科や研究室の仲間達の力があってからこそであると強く感じています。今後は、僕自身がみんなの力になれる様に頑張っていきたいと思っています。

最後に、これまで研究や学生生活を通して大変お世話になった押木先生、荒木先生、本当にありがとうございました。



Water Researchに登載された論文



みんなありがとう！

機械工学科

スレンティラン ビラバカラン

私は長岡高専に入学してからもう3年間経ちましたが、まだ昨日入学したばかりに感じています。この3年間で新しい人々と出会い、友達や先生達と作ったいろいろな楽しい思い出は、いつまでも印象に残っていると思います。高専に来る前に日本はただ技術的に進んでいる国と思っていましたが、長岡高専に入学してからやっぱり日本は文化的にも素晴らしい国ということが分かりました。ここにいる友達や先生達が私の第二家族になったおかげで、私は日本に来てから一度もホームシックになったことはありません。

私はクラスではただ一人の留学生でしたが、クラスメートや先生達が私を特別視せず仲良くしてくれたため今卒業することができました。この3年間いろいろなことを体験した中で、とても印象に残ったのはクラスマッチと学園祭でした。みんなと一緒にいろいろな活動できてとても楽しかったです。

この3年間お世話になった先生達やチューター達、また友達や寮の方々に心より感謝を申し上げます。高専の卒業は私達の新しい道の始まりです。その道にある壁を乗り越えていい将来のために頑張りましょう！



いつかまた会いましょう！

電気電子システム工学科

アブドウル タシャ ビン サペリ

長岡高専に来てからもう3年間経ちましたが、まだ昨日のような感じがしています。ここに来て、みんなと出会い出来てとても嬉しいことです。

初めて家族から遠く離れて海外で留学する私は、新しい環境で文化や言語も全然違う場所で住むことがとても大変だと思いますが皆さんのおかげで不安がなくなって、日本での生活も慣れてきました。この3年間振り返ると、大変なことや辛いことなどがたくさんありましたが、それが自分にとって良い経験になりました。長岡高専の皆さんのおかげで辛いことを乗り越える事ができ、日本についての文



化や祭りなどを体験する事も出来てとても楽しい3年間でした。そして、長岡高専の留学生のおかげで、第二の家族としてこの3年間で楽しく過ごせました。

担任の先生をはじめ、先生方、学生課や寮事務室の方々、チュータやクラスメート、そして長岡高専の皆さん、この3年間で大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。ここで出来た思い出を一生絶対忘れません。長岡は自分にとって日本での地元なので、いつか機会があったらまたここに遊びに行きます。それでは「いつかまた会いましょう！」。



高専との思い出

電気電子システム工学科

ダオ タン トウン

いよいよ卒業に近づいてきます。長岡高専との3年間であっという間に過ぎました。この3年で大変なことがありましたが、いい思い出をたくさん作りました。入学した当初は新しい環境にわくわくしながらも、まだ慣れない生活や勉強などに心配しました。しかし、先生方々がいつも親切に優しく教えてくれたり、クラスの皆、他の留学生と楽しく話したり、遊んだり、一緒に勉強したりしたおかげで、長岡の冬が寒くても、暖かく感じました。長くもない短くもないこの3年間で将来に生かせる知識を学ぶことだけではなく、友人を作ったり、一緒にスノーボードをやったり、花火を見たり、海に行ったり、やったことがないことを体験できたりして、いい思い出をいっぱい作りました。今、振り返ると昨日長岡高専に来たばかりのようで、新鮮に感じています。それで3年前の私に比べたら、自分自身が成長してきたと思います。来年長岡技大に進学し、これから長岡との縁がまだ長いですが、長岡高専で皆さんと一緒に作った貴重な思い出を大切にします。いつもそばにいてくれたり、支えてくれたりした皆さんに心から感謝します。ありがとうございました!!! またいつか会いましょう。



ありがとうございました！

物質工学科

ファイダナムア ポームア

長岡高専での3年間はあっという間と感じています。この3年間は私にとって、非常に素晴らしい経験となりました。この3年間で振り返るといろいろな日本についての文化や祭りを学びました。一番の思い出は、幸せなことやつらいことをクラスメートと一緒に過ごせたことです。そして、つらいことのおかげで、自分も成長することができました。次は、勉強で分からないことがあった時に先生、チューター、留学生から優しく親切に教えて頂いたおかげで無事に5年間過ごせたことです。皆に感謝しています。長岡高専と一緒に遊び、サポートしてくれた留学生の皆さん、日本人の友達はまるで家族のようです。また、留学生のためにさまざまなイベントを計画してくれてありがとうございました。これでお別れとなりますが、

未来またいつか会うことを信じています。最後ですが、私はこれから日本の会社を就職します。仕事は大変かもしれませんが、頑張っていきたいと思います。3年間お世話になりました。ありがとうございました！



長岡高専、大好きです！

物質工学科

ジヨセリン ラウ ミン ユエン

あっという間に、長いようで短かった高専生活も終わりに近づきます。長岡高専に編入してから、もう3年間が経ちました。この3年間を振り返ると、楽しいことも辛いこともありましたが、私にとって、この3年間は本当に素晴らしい経験になりました。

日本に来たばかりの頃、日本語があまり上手ではなかったし、日本の習慣や文化もまだ慣れていなかったのも大変でした。でも、高専の優しい先生方をはじめ、クラスメートや留学生たちが色々なことを助けてくれたり、教えてくれたりしたので、日本での生活にだんだん慣れてきました。心の底から感謝します。そして、高専に来てから、留学生旅行、工場見学、スノーボード、ホームステイ、体育祭、長岡花火、学園祭、遠足、クラスマッチなどを体験することができて、たくさんいい思い出もできました。そういう活動を通して、日本の文化を深く理解できると同時に、充実した高専生活を過ごせました。この貴重な経験はいつまでも絶対に忘れられないと思います。そのおかげで、自分も成長することができました。

長岡高専に来て、良かったです。皆さん、ありがとうございました！本当にお世話になりました。機会があれば、また会いましょう！



Thank you!

環境都市工学科

アンジェリン タン ヨン シアル

長岡高専に編入してから、あっという間に3年間が経ちました。今この文章を書いている私は高専での3年間の思い出がいっぱい浮かんできて、何から書こうか迷ってしまいます。日本に来たばかりの頃は、日本語があまり上手ではなかったのも、授業が聞き取れるか不安でした。また、母国や家族から離れてしばらく慣れない生活が続き、色々な心配がありました。しかし、先生方をはじめクラスメートや寮生、留学生達のおかげで、幸せな時も辛い時も全て乗り越えることができました。

長岡は四季がはっきりしているため、『ここにきて良かった！』というも思っています。春は花見、夏は長岡花火、秋は学園祭、冬はスノーボード……など色々な貴重な経験ができ

たことは一生忘れられません。私は冬が一番好きです。母国では四季がないため、毎年の初雪を楽しみにしています。雪が降り、山々が雪に覆われる真っ白な景色は心が癒されます。冷たいのに暖かく感じる雪、厳しいのに優しく感じる雪景色、私は不思議な雪の魅力に感動しました。

最後に、長岡で出会った方々、先生方、教職員の皆様に心から感謝の気持ちを申し上げます。3年間大変お世話になりました。Thank you for everything!



溢れる思い出

電子機械システム工学専攻

グエン トウン アイン

現在、長岡高専の電子機械システム専攻2年で、視覚情報処理研究室に所属しています。

長岡高専に入学してから5年が経って、様々な思い出ができました。編入の留学生として、5年前に長岡市及び長岡高専での生活が始まりました。まだ慣れない高専の生活に不安がいっぱいでした。当時、同級生の3年生と一緒に授業を受けたり、生活したりするのに、自分が外国人なのでコミュニケーションが取れるかなと思い、心配でした。しかし熱心な先生方、爽やかな電子制御工学科のクラスメート、学習チューターさん、生活チューターさん、先輩たちがいつも応援してくれたり、話してくれたりして、母国から離れた私にとって心強いサポートをしてくださいました。心から言い切れない感謝を申し上げます。それとともにせっかく勉強できるチャンスがありましたので精一杯、専門知識を学んだり、研究したりすることを決心し、5年経って、楽しいときにも苦しいときにも勉強と研究を頑張る続け、貴重な経験や知識を身につけることができました。

今年の4月から社会人になって、これから人生が頑張ることがまだいっぱいあります。高専時代の思い出、身につけた知識を自分の誇りとして社会で活躍したいと思えます。

皆さん、5年間、どうもありがとうございました。後輩の皆さん、チャンスがあれば是非長岡高専にチャレンジしてください。





長い間の感謝をこめて

機械工学科

吉野 正信

35歳になったとき、この高志台で働くようになりましたので、すでに28年が過ぎたことになります。人間というのは不思議なもので、私の頭にある思い出は大きく分類して、大学の6年間、民間企業の11年間、そして高志台での28年間ということになります。大学、民間における思い出はそれぞれ別の機会に譲るにして、高志台での思い出は、来たら学位を取れとのことで長岡技大に行かされ、行ったらなぜか、民間企業で隣の席の担当が困っていた事故の調査品があり、とうとうその解析に足を染めてしまったことです。そうこうしているうちに、中越地震に見舞われ、竹部先生や宮崎先生らの絶大な協力を得ながら、情報処理センターで豊橋技大の協力のもとホームページを切らず流し続けたり、今となっては懐かしいけれど当時はひどい経験をしました。その3年後には中越沖地震で自宅がやられてしまいました。新潟地震と合わせるともう3回もひどい地震を経験しました。

最近の関心事は、高専の海外への制度輸出でしょうか。渡邊校長がいらっしゃるところから、いろんな海外と交流が活発になり、とうとう制度輸出です。私も少なくともあと1年はお世話になります。若い方、積極的に参加ください。



えっ 定年??

電気電子システム工学科

片桐 裕則

誰が定年なの？私？原稿依頼を受けた時の正直な感想であった。揺れ動く年金制度の狭間で生まれた再雇用制度を利用し、来年度も在職したままでいるつもりなのに私にとって、「定年退職」という認識が欠けていたようだ。37年前の昭和56年4月に助手として着任した際、「65歳の定年退官まで長いよ。」と人事係長に言われたことを鮮明に覚えている。それが、いつの間にかの制度変更で定年が63歳と2年早くなり、平成12年には専攻科が設置され、平成16年の独法化で我々の呼称は教官から教員へとかわり、教育に加え研究と地域貢献が業務に追加され、外部資金の獲得が求められるようになった。このめまぐるしい変化をぼやいているわけではない。学校を含め現代の社会では、当たり前と思っていたことが次々と変わっていくことが当たり前なのだ、今では達観できるようになった。しかし、変えてはいけないうちもある。義務教育以外の学校は「学びたい学生」と「教えたい教師」の両者が集って初めて成り立つ場所である。定年退職を迎え、本校がこの大原則に則った学校であり続けてくれることを切に希望している。



退職に当たり

電子制御工学科

阿部 高弘

一つ目「最初の学生」阿部教員室に最初の学生が入室してきました。「物質・年・です。今日の体育は・。」と連絡に来ました。この学生

はどんな物質？少し考え…ようやく理解しました。

二つ目「2.14」2月14日悲劇が起きました。学生 担任 双方の保護者 そして一番近かった私眠れない夜が続きました。

三つ目「部活動」柔道部員たちは私を8年連続で全国高専大会に連れて行ってくれました。後半の4年間は連続全国3位。部員数は平均すると学年2人。初心者率3割～4割でした。自分たちでやり遂げる雰囲気感銘を受けました。高校だと3年間。高専は5年間。伸び率が大きいと感じました。リーダーシップが年々育っていく。チームワークがまとまっていく。コミュニケーション能力がアップしていく。体力的素材に恵まれなくても人柄に恵まれた8年間でした。

四つ目「授業」最初はこちら主導です。少しずつ学生たちに役割を与えていくと自分たちで考えて行動していきます。リーダーがしっかりしてくる。クラスがまとまっていく。自分たちで計画して行動していく。高専の学生の素晴らしさを感じた8年間でした。

五つ目「校務」高校教員だった私には驚くことが多数朝の教員会議がない。SHRが週1回しかない。担任でない清掃指導がない。通知表を書かなくていい。数ヶ月顔を合わせない教員がいる。問題を起こす学生がほとんどいない。

寮務主事 問題は少なそうで意外と多かった。わがままが見える寮生も…。でも自由に自分のやりたいことがやれる学校でした。

六つ目「感謝」8年間。思うとあっという間でした。そして楽しい8年間を過ごすことができました。教職員の皆様素晴らしい高専の学生の皆さん ありがとうございます。



定年退職にあたって

電子制御工学科

太刀川 信一

平成21年4月に長岡高専に赴任して、早9年が過ぎ本年度で定年退職を迎えました。これまで、無事勤めさせていただけたのは、ひとえに皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと、私の人生の原点は高専にあります。高専入学当時、アマチュア無線が大好きで、50MHzの無線機を肩に担いで、高専1年の春休みに友達と九州旅行し、高いところに登ってはハム仲間と交信を楽しんでいました。しかし、この重さにはまいりました。何とかしたい。それから47年、いまでは、携帯電話はもちろんスマートフォンが当たり前です。実は、こうなることは、私達（自分を含め研究者仲間）は、20歳後半（1980年代）頃には何となく予想していて、そのための通信方式の研究に没頭、議論を重ね、現在に至っています（今の技術にも、まだまだ不満があります）。ですから、まさに、私の人生の出発点は、あの高専1年生時の経験にあったような気がします。

高専に赴任してからは、教育や研究の他に、クラス担任としていろいろな行事に参加できたことが印象に残っています。春のハイキング、見学旅行、卒研、専攻科生との海外研究発表等、ほんとうに楽しい思い出です。

今後の長岡高専のご発展をお祈りすると共に、定年後も、しばらくお世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

■ 独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

理事長特別表彰

ロボティクス部「INPUT」

電気電子システム工学科 安原 雅貴
機械工学科 高橋 昌己

電子制御工学科
電子制御工学科

樋口 翔太
高野 創

理事長表彰

物質工学専攻
物質工学専攻

家後 和美
笹川 祥平

■ 長岡高専の学則に定める賞

(学科)

特別表彰

機械工学科 高橋 昌己

功労賞

電子制御工学科 曾根森之介
電気電子システム工学科 細川 和真
機械工学科 高橋 昌己
電気電子システム工学科 安原 雅貴
電子制御工学科 樋口 翔太

精励賞

機械工学科 鈴木 広大
物質工学学科 高木 緑
環境都市工学科 島津 佑輔
環境都市工学科 ANGELIN TAN YONG SHER

皆勤賞

機械工学科 大竹 章太
機械工学科 木村 恒介
機械工学科 齋藤 祐功
電子制御工学科 近藤 巧

電子制御工学科
環境都市工学科
環境都市工学科
環境都市工学科
環境都市工学科

平澤 祐太
金子 司
下村 魁晟
中澤 文香
林 愛海

(専攻科)

特別表彰

環境都市工学専攻
環境都市工学専攻
電子機械システム工学専攻

佐藤 信輔
小林 直央
南雲 祥多

■ 各種学会賞等

日本機械学会 畠山賞	機械工学科	鈴木 広大
第27回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 優秀発表賞	電子制御工学科	外山 雄輔
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学学科	枝村 紅依
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学学科	JOCELYN LAU MIN YUAN
第7回高専-TUT太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター賞	物質工学学科	小池みさき
International Conference of "Science of Technology Innovation" 2017 (STI - Gigaku2017) Best Poster Award	物質工学学科	竹内 綾
全国高専土木工学会 近藤賞	環境都市工学科	島津 佑輔
第35回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会優秀講演者表彰 土屋雷蔵賞	環境都市工学科	高橋 真由
第27回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 優秀発表賞	電子機械システム工学専攻	近藤 栄希
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	中嶋 航大
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	前田 隆宏
第16回情報科学技術フォーラムFIT奨励賞	電子機械システム工学専攻	南雲 祥多
2016年度日本高専学会 研究奨励賞 優秀賞, 特別賞	環境都市工学専攻	小林 直央
土木学会平成29年度全国大会第72回年次学術講演会 優秀講演者賞	環境都市工学専攻	高橋 寛成
日本コンクリート工学会第39回コンクリート工学講演会 年次論文奨励賞	環境都市工学専攻	野内 彩可
土木学会平成29年度全国大会第72回年次学術講演会 優秀講演者賞	環境都市工学専攻	野内 彩可

■ 同窓会長賞

陸上競技部

電子制御工学科 高畠 魁人
環境都市工学科 岡崎 恵子

水泳部

機械工学科
電気電子システム工学科
物質工学学科
機械工学学科
電気電子システム工学科
環境都市工学科

竹内 宏
大島 亮哉

電子制御工学科
電気電子システム工学科

樋口 翔太
安原 雅貴

バスケットボール部

機械工学科 羽取 俊貴
機械工学学科 木村 恒介
機械工学学科 齋藤 祐功
電子制御工学科 入沢 和
電子制御工学科 遠田 利矢

硬式野球部

電気電子システム工学科
物質工学学科
物質工学学科
環境都市工学科
物質工学学科

中川 瑞輝
神村 満純
中村 彪雅
鈴木 健太
片桐 雛子

プレラボ

電気電子システム工学科
電気電子システム工学科
電気電子システム工学科
電気電子システム工学科
電気電子システム工学科

青木 大知
小林 毅範
藤田 啓吾
安原 雅貴
若山 明裕

模型同好会

機械工学学科
機械工学学科

鈴木 広大
矢部 祐介

スノーボード

機械工学学科

八木 健太

バレーボール部

環境都市工学科 丸山 将大
環境都市工学科 橋本 啓太
物質工学学科 樋浦 一樹

柔道部

環境都市工学科 三五 彬喜

ロボティクス部

機械工学学科

高橋 昌己

進路状況 (平成30年3月現在)

学科

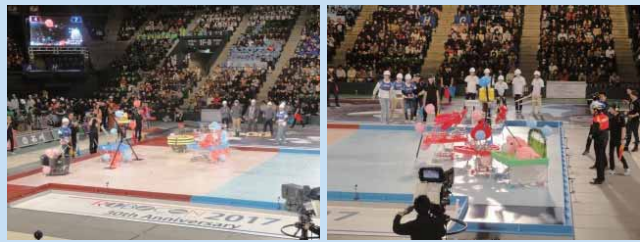
学 科	区 分	卒業者数	進学者数	就職者数			その他
				県 内	県 外		
機械工学科		34	22	10	5	5	2
電気電子システム工学科		27	16	9	5	4	2
電子制御工学科		38	31	6	5	1	1
物質工学学科		36	27	9	3	6	0
環境都市工学科		39	26	13	6	7	0
計		174	122	47	24	23	5

専攻科

専 攻	区 分	修了者数	進学者数	就職者数			その他
				県 内	県 外		
電子機械システム工学専攻		18	3	15	8	7	0
物質工学専攻		6	3	3	1	2	0
環境都市工学専攻		10	4	6	3	3	0
計		34	10	24	12	12	0

長岡高専チーム、ロボカップジュニア・サッカーオープン完全制覇の快挙！

平成29年12月3日（日）に東京の有明コロシアムにて開催されたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017全国大会に8年ぶりにロボティクス部から長岡高専A「新鮮組」と長岡高専B「ベアLINK」の2チーム（2チーム出場は高専ロボコン史上初）が出場致しました。今大会の競技テーマは「大江戸ロボット忍法帳」風船を割りあう対戦形式の競技で26チームでのトーナメント戦でした。8年ぶりの全国大会でしたが、新選組のベスト4、ベアLINKのアイデア倒れ賞の受賞と素晴らしい戦績でした。連戦の中、引き続き、平成29年12月



13日～18日にRoboCup Asia-Pacific 2017（ロボカップアジアパシフィック2017世界大会）がバンコク国際貿易展示場にて第1回大会が開催されました。本校からは、チーム「INPUT」がRoboCup Junior Soccer LeagueのSoccer Open（サッカーオープン）に出場し、「SuperTeam Champion」と「Best Technical Innovation」のW受賞となりました。2017年に開催されたロボカップジュニア・サッカーオープンのカテゴリーにおいて、参加できうる6つの大会全てに出場し全て優勝し、前人未踏の完全勝利を収めたということになります。長岡市からもその功績が認められ、表彰されております。おめでとうございます。

片桐裕則先生、CZTS太陽電池のパイオニア的業績で本年度、トリプル受賞！

電気電子システム工学科の片桐裕則教授が本年度、第7回（2017年度）応用物理学会北陸・信越支部貢献賞、新潟日報文化賞（産業技術部門）、平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）とトリプル受賞をされました。長岡高専で長年、精力的にご研究されてきたCZTSと呼ばれる新物質による太陽電池応用の開発のパイオニア的業績が高く評価されての受賞となりました。おめでとうございます。



PICK UP 2017 T O P I C S

①フラー株式会社代表取締役CEO渋谷修太氏、講演会を開催

さる9月25日に本校OBでフラー株式会社代表取締役CEOである渋谷修太氏をお招きし「高専生のときに知っておきたかったこと」と題し、ご講演をしていただきました。渋谷氏は本校電子制御工学科の卒業生ということもあり、後輩である学生に非常に熱く、温かい講演をしていただきました。

②『下町ロケット』のモデル弁護士 鮫島正洋氏特別講演会を開催しました。

10月13日に、内田・鮫島法律事務所の鮫島正洋氏をお招きし、『下町ロケット』のモデル弁護士が語る研究開発者のための知財戦略」と題し、ご講演いただきました。ご自身の経歴や経験からのお考えやキャリアを構築していくための指針、技術者や企業経営者等が特許に向き合う姿勢や知財戦略の立て方など、これから社会に出て行く学生たちにとって、とても貴重で有意義なお話をいただきました。

③第28回プログラミングコンテスト特別賞、企業賞、NICT賞受賞！

第28回プログラミングコンテストが山口県徳山市の周南文化会館にて10月8、9日の2日間で開催されました。電気電子システム工学科5年生が率いるチーム「Tanboo-水田監視システム」が全国高専プログラミングコンテストの自由部門にて、NICT賞、東芝デジタルソリューション企業賞、プログラミングコンテスト自由部門特別賞を受賞しました。

④宮柊二記念館全国短歌大会で15名が受賞

第23回宮柊二記念館全国短歌大会ジュニア部門高校生の部で、本校から多くの学生が入賞しました。本大会の表彰式は11月11日（土）に魚沼市堀之内公民館にて行われました。1、2学年を中心に国語科の授業での取り組みで、多数応募、15名が受賞しました。高専生らしさと若々しさが溢れた作品が多く見られました。

⑤平成29年度国際理解教育プレゼンテーションコンテスト出場報告

平成29年12月16日（土）新潟市朱鷺メッセにおいて「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」が開催されました。本年度は中学生部門9チーム、高校生部門15チームが出場し、国際理解に関わる様々なテーマで各チームとも趣向を凝らした発表を行いました。本校からは、地球ラボが運営する国際関係学演習より「じゃ！タベマ！」「シャイフレンズ」の2チームが高校生部門へ出場し、「じゃ！タベマ！」チームが見事「優秀賞」を受賞いたしました。

⑥第7回新潟県化学インターハイ7連覇達成！

12月9～10日の2日間に渡って開催された第7回新潟県化学インターハイに参加しました。今年度は21チームが参加し、争われました。今回は準備期間が短く、予備実験も出来ないまま大会を迎えたことから連覇も危ぶまれましたが、終わってみれば、最優秀高等学校（日本化学会関東支部長賞）、新潟日報賞、NST賞、長岡徹章賞など全ての主要な賞を独占し、高専生の底力を見せつけてくれました。

